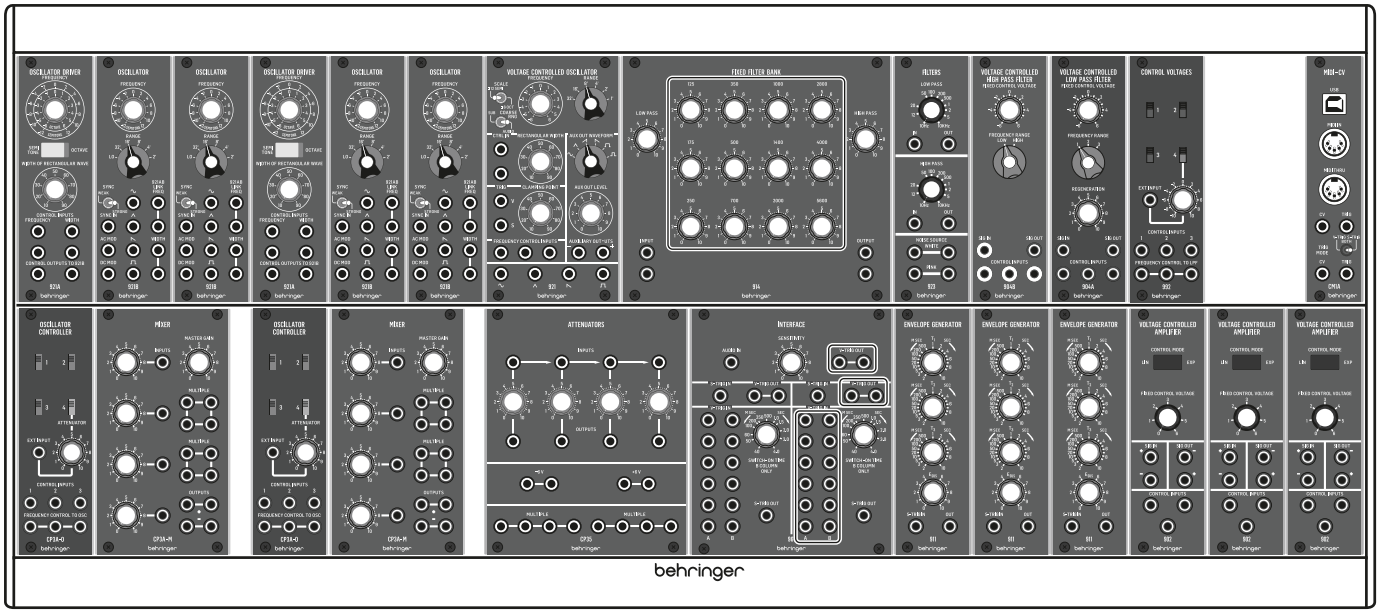
クイックスタートガイド

JP



SYSTEM 35

Complete "System 35" Modular Synthesizer with 25 Modules,
MIDI-to-CV Converter and EURORACK GO case

V 1.0

behringer

JP

JP 安全にお使いいただくために

注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

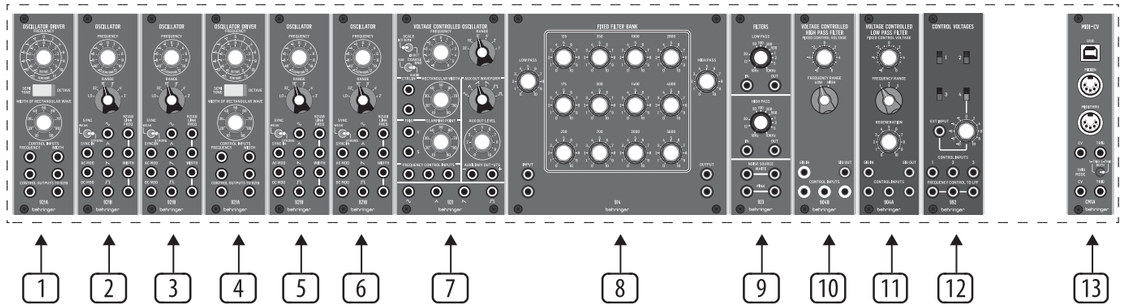
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

Modules

Your System 35 has two rows of modules



Top Row

1 & 4 921A Oscillator Driver.

2 & 3 / 5 & 6 921B Voltage Controlled Oscillators (VCO).

7 921 Voltage Controlled Oscillator (VCO/LFO)

8 914 Fixed Filter Bank (FFB).

9 923 Filters and Noise Sources.

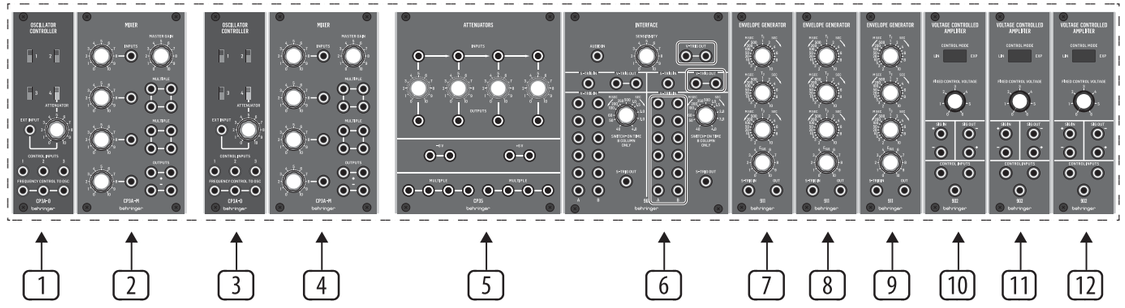
10 904B High Pass Filter (HPF).

11 904A Low Pass Filter (LPF).

12 992 Control Voltages.

13 CM1A – MIDI interface.

Bottom Row



1 & 3 CP3A – O

2 & 4 CP3A – M

5 CP35 Attenuator / Voltage Source / Multiple

6 961 Interface.

7 - 9 911 Envelope Generators (EG).

10 - 12 902 Voltage Controlled Amplifiers (VCA).

Further information on all modules can be found on their individual Quick Start Guides at www.behringer.com/downloads.html

JP

System 35 - はじめに

接続

System 35 を接続する際は、各パッチをご参照ください。

ハードウェアセットアップ

各パッチの表記に従い、システム内の接続をすべて済ませます。接続作業中は System 35 の電源はまだ入れないでください。

サウンドシステムがオフになっていることをご確認ください。

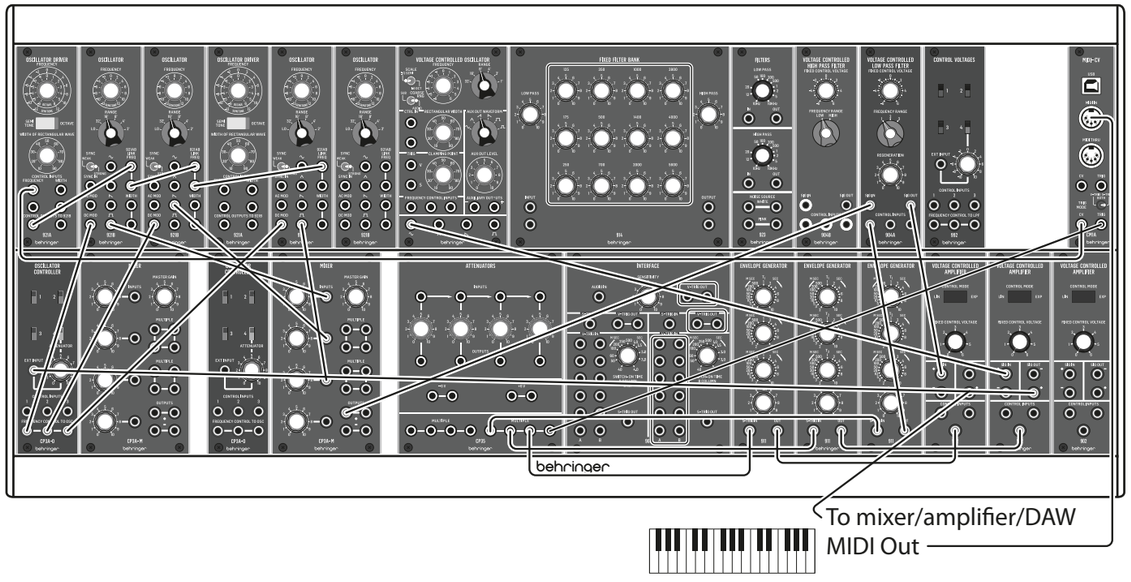
System 35 の電源は、パワーアンプリファーよりも先にオンにし、電源を落とす時は最後にオフにします。それにより、スピーカーへのポップ音や衝撃音を防ぎます。

ウォームアップ時間

System 35 をレコーディングやライブパフォーマンスにご使用になる前に、30 分以上のウォームアップ時間を設けてください（低温の場所から運び込んだ場合はさらに延長してください）。それにより精密回路が通常使用温度に達し、精確な性能を発揮します。

System 35 パッチ

エクスプレッシブリード #1



ボルテージコントロール（ピッチ）

ソース	送信先
外部 MIDI キーボード – MIDI 出力	CM1A MIDI インターフェース MIDI IN（入力）
CM1A CV 出力	921A OSCILLATOR CONTROLLER (オシレーターコントローラー) FREQUENCY INPUTS（周波数入力）
921A FREQUENCY OUTPUTS（周波数出力）	921B FREQUENCY LINK (周波数リンク- 直列)

オーディオ

921B 波形出力（ 3/4 出力中）	CP3A-M INPUTS（入力）
CP3A-M OUTPUTS（出力）	904A SIG IN（信号入力）
904A SIG OUT（信号出力）	902 SIG IN（信号入力）
902 SIG OUT（信号出力）	ご使用のミキサー/ アンプリファー/DAW

ボルテージコントロール（アンプリチュード）

CM1A S-TRIG（S トリガー出力）	MULTIPLE（マルチプル）
MULTIPLE OUTPUT（マルチプル出力 - 3つ）	3 x 911 S-TRIG IN（S トリガー入力）
1 番目の 911 のOUT（出力）	1 番目の 902 の CONTROL INPUTS （コントロール入力）

ボルテージコントロール（モジュレーション）

2 番目の 911 の OUT（出力）	904A CONTROL INPUTS （コントロール入力）
921 AUX サイン波出力	2 番目の 902 SIG IN（信号入力）
2 番目の 902 の SIG OUT（信号出力）	CP3A-0 INPUT（入力）4
CP3A-0 出力	921B DC MOD（DC モジュレーション） 入力（3 つ）
3 番目の 911 の Out（出力）	2 番目の 902 の CONTROL INPUTS （コントロール入力）

このパッチでは、ノートをホールドすると、少し遅れてビブラート効果がフェードインします。

外部キーボードから、CM1A MIDI インターフェースを通じてピッチ制御とノートのトリガーをおこないます。V- トリガー および S-トリガー間で切り替え可能で、S-トリガーを選択すると 961 インターフェースは不要です。

ピッチ CV を、921B VCO にデイジーチェイン接続した 921A オシレータードライバーのいずれかにフィードします。各オシレーターで選択した波形を CP3A-M ミキサーへフィードします（そこから 904A LPF にフィード）。S-トリガーを Multiple（マルチプル）へフィードし、それから 911 EG のS-トリガー入力へとフィードします。

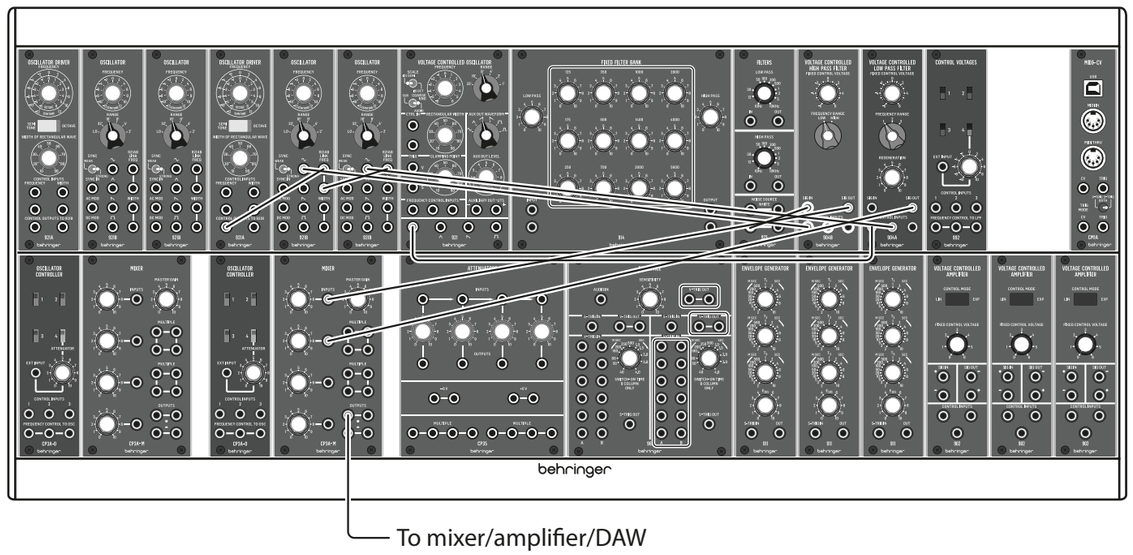
904A LPF の出力を 902 VCA のいずれか 1 つにフィードし、そこからミキサー、アンプリファーまたは DAW にフィードアウトします。この VCA は 1 台目の 911 EG で制御します。2 台目の 911 は 904A の CONTROL INPUT（コントロール入力）にフィードします。3 台目の 911 EG は 2 台目の 904 VCA を制御します。

921 LFO より、2 番目の 902 VCA の SIG IN（信号入力）にフィードします。その出力を C3PA-0 の 4 番目の入力にフィードし、必要に応じて減衰します。C3PA-0 の出力 3 つは、921 オシレーターの DC MOD（DC モジュレーション）入力にフィードします。

3 台目の 911 はアタックタイムを長く、サステインはフルにします。

1 台目の 911 のサステインタイムを長く設定することで、ノートをホールドすると、ゆっくりとビブラート効果がフェードインします。ノートをレガートでプレイした場合は、ビブラートは生じません。

スペースロック



このパッチでは、典型的な ‘スペースロック’ サウンド 2 種類を創出し、またそれらをミックス できるようにします。

JP

ソース	送信先
921 サイン波 出力	904A CONTROL INPUTS （コントロール入力）
921A FREQUENCY OUTPUTS （周波数出力）	2 x 921B FREQUENCY LINK （周波数リンク- 直列）
1 番目の 921B のサイン波出力	904A CONTROL INPUTS（コントロール入力）
2 番目の 921B のサイン波出力	904B CONTROL INPUTS（コントロール入力）
923 PINK NOISE（ピンクノイズ）出力	904B SIG IN（信号入力）
904A SIG OUT（信号出力）	CP3A-M INPUTS（入力）1
904B SIG OUT（信号出力）	CP3A-M INPUTS（入力）2
CP3A-M OUTPUTS（出力）	ご使用のミキサー/ アンプリファー/DAW

このパッチでは、コントロール設定が非常に重要です。

904A LPF の REGENERATION（リジェネレーション - 再生成）は、フィルターが自ら発振するように、必ず 9 または 10 に設定します。

921A では OCTAVE（オクターブ）を選択し、FREQUENCY（周波数）コントロールは -6 に設定します。

921B VCO は ‘LO’ に設定します – これらのオシレーターは、フィルターにスイープを付加します。

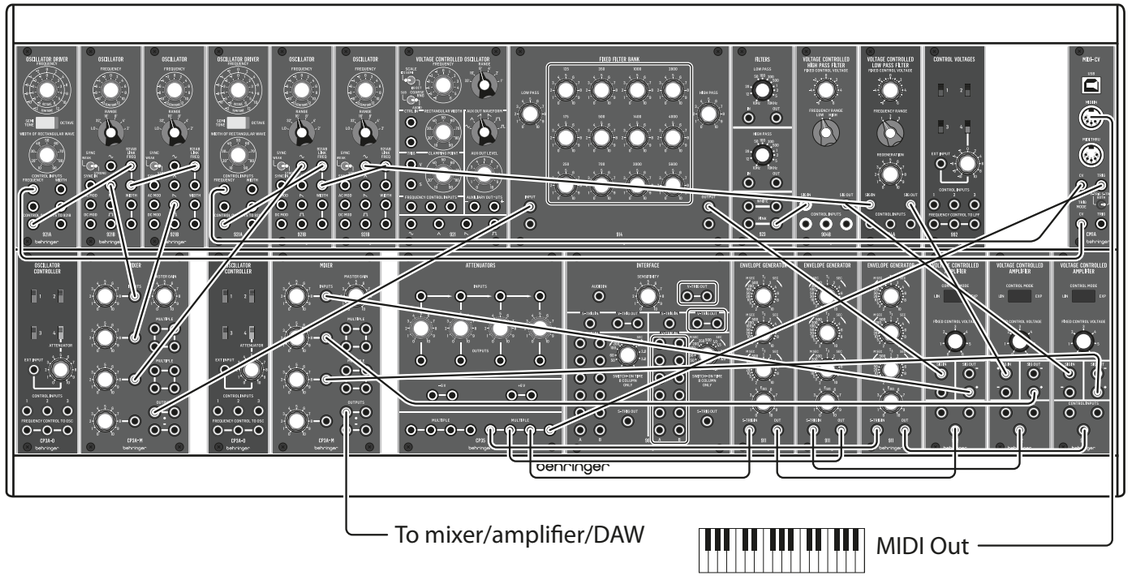
921 LFO は ‘Sub’ に設定します – これはセルフオシレーティングフィルターのメインモジュレーションで、FREQUENCY（周波数）を手動で動かすことにより、クラシックなサウンドを生成できます。

904B HPF にフィードされたピンクノイズは、スウェプトウィンド効果を生成し、FIXED CONTROL VOLTAGE（固定コントロールボルテージ）ツマミで変化させることができます。

904A LPF の FIXED CONTROL VOLTAGE を変化させると、興味深いエフェクトが生成されます。

CP3A-M は、2 つのフィルター出力を 2 つのミキサーまたはアンプリファーチャンネルに直接送る代わりに、2 つの信号のバランスを取って出力します。両方のサウンド共、エコーの恩恵をたっぷりと受けます!

メローオルガン



914 FFB を使用したメローサウンドでは、設定を変えることで簡単に攻撃力の高いサウンドへと変化させられます。

ボルテージコントロール（ピッチ）

ソース	送信先
外部 MIDI キーボード – MIDI 出力	CM1A MIDI インターフェース MIDI IN（入力）
MULTIPLE 経由 CM1A CV 出力	921A FREQUENCY INPUTS（周波数出力）x 2
921A FREQUENCY OUTPUT （周波数出力）x 2	921B OSCILATOR（オシレーター） FREQUENCY LINK（周波数リンク- 直列）

オーディオ

1 番目の 921B 三角波出力	CP3A-M INPUTS（入力）1
2 番目の 921B スクエア波出力	CP3A-M INPUTS（入力）2
3 番目の 921B サイン波出力	CP3A-M INPUTS（入力）3
CP3A-M OUTPUTS（出力）	914 INPUT（入力）
4 番目の 921B サイン波出力	904A SIG IN（信号入力）
923 PINK NOISE（ピンクノイズ）出力	904B SIG IN（信号入力）
914 OUT（出力）	1 番目の 902 SIG IN（信号入力）
904A SIG OUT（信号出力）	2 番目の 902 SIG IN（信号入力）
904B HIGH PASS FILTER（ハイパスフィルター）SIG OUT（信号出力）	3 番目の 902 SIG IN（信号入力）
3 x 902 SIG OUT（信号出力）	CP3A-M MIXER INPUTS（入力）1-3
CP03A-M MIXER OUTPUTS (ミキサー出力)	ご使用のミキサー/アンプリファー/DAW

ボルテージコントロール（アンプリチュード）

CM1A S-TRIG（S トリガー）出力	MULTIPLE 経由 3 x 911
3 x 911 OUT（出力）	3 x 902 CONTROL INPUTS (コントロール入力)

このサウンドは 3 つのコンポーネントで構成されています。メインオルガンサウンドは最初の 3 台の 921B と 914 FFB で生成します。2 つ目のサウンドは 4 台目の 921B と 904A LPF で、3 つ目のサウンドは 923 Pink Noise（ピンクノイズ）および 904B HPF で生成します。重要な設定がいくつかありますが、サウンドバリエーションは容易に作成できます。

メインオルガンサウンドは 921B の三角波、スクエア波および サイン 波をミックスします。921A の Width（幅）コントロールは通常 50% に設定すると、純粋なスクエア波ができますが、さらに高く設定するともっと "鼻にかかったような" 音になり、低く設定するとメロウになります。基本のサウンドは全波形の音量が等しいですが、バランスを変えることで新規サウンドも創成できます。

914 の設定も非常に重要です。基本的なサウンドの場合の設定は:

Low Pass (ローパス)	0
125	4
175	4
250	0
350	5
500	3.5
700	0
1000	0
1400	1
2000	0
2800	0
4000	0
5600	0
High Pass (ハイパス)	0

値を変えて試してみましょう – たとえば、高域の値を上げると、サウンドがより攻撃的になります。

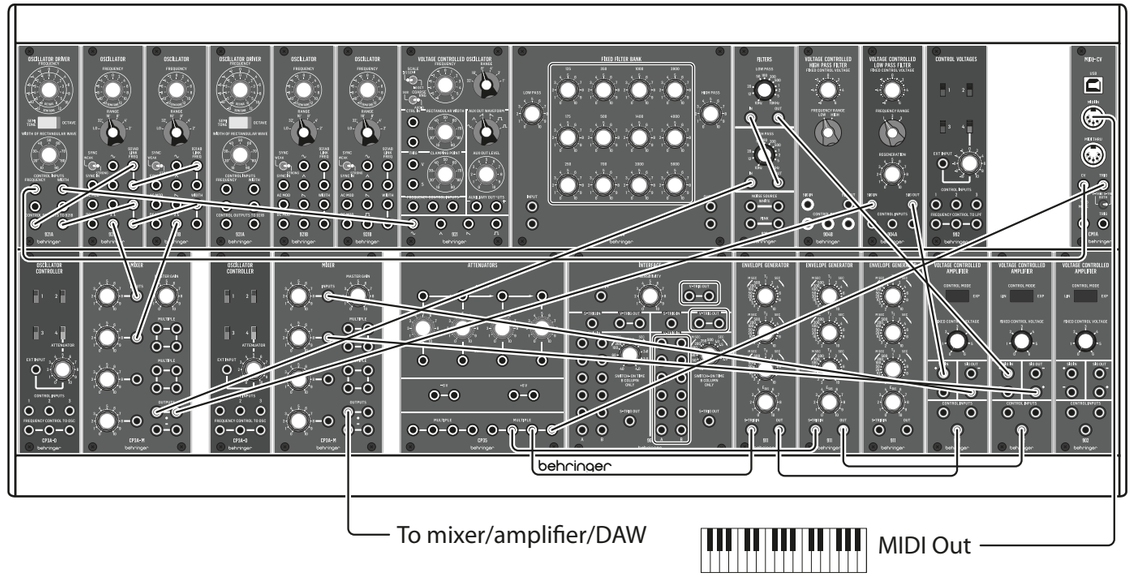
911 EG は、T1 (アタック) および T3 (リリース) を最小にします; T2 (ディケイ) および E sus (サステイン) は長くします。

2 つ目の要素は、キープレスによる、チューンドパーカッシブサウンドです。これは 4 台目の 921B のサイン波と 904A LPF により生成されます。エンベロープ設定は T1 (アタック) と T3 (リリース) および E sus (サステイン) を最小に、; T2 (ディケイ) を 500 ms にします。

3 番目の要素は、キープレスによるアンチューンド パーカッシブサウンドです。これは 923 のピンクノイズと 904B HPF により生成されます。エンベロープ設定は T1 (アタック) と T3 (リリース) および E sus (サステイン) を最小に、; T2 (ディケイ) を 5 ms にします。この要素は、ミックスでは控えめにしてください。

JP

エクスプレッシブリード #2



このサウンドでは、パルス幅モジュレーションをオシレーター 2 つに使用し、一方を少しデチューンしてサウンドを太くします。

ボルテージコントロール（ピッチ）

ソース	送信先
外部 MIDI キーボード – MIDI 出力	CM1A MIDI インターフェース MIDI IN (入力)
MULTIPLE 経由 CM1A CV OUT（出力）	921A OSCILLATOR CONTROLLER（オシレーターコントローラー) INPUTS（周波数入力）
921A FREQUENCY OUTPUTS（周波数出力）	2 X 921B FREQUENCY LINK (周波数リンク- 直列)

オーディオ

2 x 921B スクエア波出力	CP3A-M INPUTS（入力）1 および 2
MULTIPLE 経由 CP3AM OUTPUTS（出力）	904A SIG IN (信号入力）および 923 HIGH PASS（ハイパス）SIG IN
923 HPF SIG OUT（ハイパスフィルター信号出力）	923 LOW PASS（ローパス）SIG IN（信号入力）
904A SIG OUT（信号出力）	1 番目の 902 SIG IN（信号入力）
923 LOW PASS OUT（ローパス出力）	2 番目の 902 SIG IN（信号入力）
2 x 902 SIG OUT（信号出力）	2 番目の CP3A-M MIXER INPUTS (入力) 1 および 2
2 番目の CP3A-M OUTPUTS（出力）	ご使用のミキサー/アンプリファー/DAW

ボルテージコントロール（アンプリチュード）

MULTIPLE 経由 CM1A S-TRIG OUT (S トリガー出力)	2 x 911 S-TRIG IN (S トリガー入力)
2 x 911 OUT（出力）	2 x 902 CONTROL INPUTS (コントロール入力)

ボルテージコントロール（モジュレーション）

921 サイン波出力	921A WIDTH 入力（幅入力）
921A WIDTH リンク（幅リンク）	2 x 921B WIDTH リンク（幅リンク- 直列）

デチューンした 921B VCO によりサウンドは太くなり、921 のサイン波のスピードでコンスタントに音色が変化します– 921 はSub モードにし、スピードは随意に調節します。

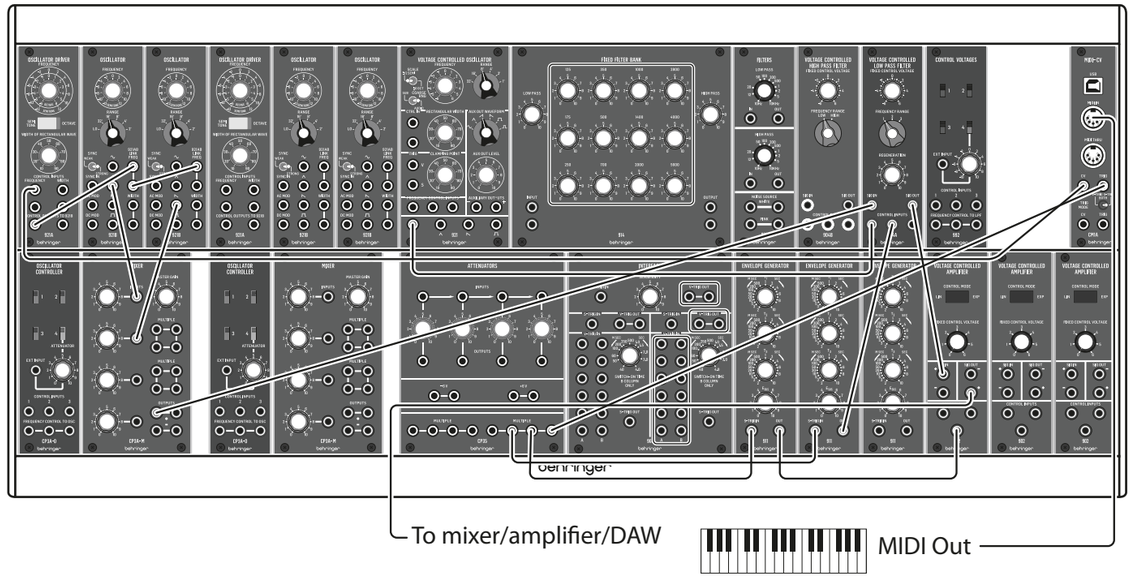
サウンドの主な部分は 904A LPF が担い、FIXED CONTROL VOLTAGE（固定コントロールボルテージ）および REGENERATION（リジェネレーション）は、狙いに沿うよう随意に設定します。サウンドの 2 つ目の部分は 923 フィルターのバンドパス効果です。

911 EG の設定は、基本的にはサウンドの主要部分に合わせて調節しますが、推奨は T2（ディケイ）、T3（リリース）、および E sus（サステイン）を中～高めに設定することです。

サウンドの 2 つめの部分では T2（ディケイ）を短めに、T3（リリース）および E sus（サステイン）は最小限にします。

最終ミックスでは、2 つ目の部分の音量は低めにします。

パーカッシブリード



ハードなフロントエンドと、音色の変化を持つ、シンプルな、2 つのオシレーターによるリードサウンドで、メロディックなシーケンスに最適。

JP

ボルテージコントロール（ピッチ）

ソース	送信先
外部 MIDI キーボード – MIDI 出力	CM1A MIDI インターフェース MIDI IN（入力）
MULTIPLE 経由 CM1A CV 出力	921A FREQUENCY INPUTS（周波数入力）
921A FREQUENCY OUTPUTS（周波数出力）	921B FREQUENCY LINK（周波数リンク- 直列）

オーディオ

1 番目の 921B 三角波出力	CP3A-M MIXER INPUTS（ミキサー入力）1
2 番目の 921B ノコギリ波出力	CP3A-M MIXER INPUTS（ミキサー入力）2
CP3A-M OUTPUTS（出力）	904A SIG IN（信号入力）
904A SIG OUT（信号出力）	902 SIG IN（信号入力）
902 SIG OUT（信号出力）	ご使用のミキサー/アンプリファー/DAW

ボルテージコントロール（アンプリチュード）

MULTIPLE 経由 CM1A S-TRIG OUT（S トリガー出力）	2 x 911 S-TRIG IN（S トリガー入力）
1 番目の 911 OUT（出力）	902 CONTROL INPUTS（コントロール入力）

ボルテージコントロール（モジュレーション）

921 サイン波出力	904A CONTROL INPUTS（コントロール入力）
2 番目の 911 OUT（出力）	904A CONTROL INPUTS（コントロール入力）

このサウンドでは 2 つの 921B VCO を異なる波形で使用し、一方をわずかにデチューンすることで最高の効果が得られます。両方とも 904A LPF へフィードし、必要に応じて、相対的なレベルを CP3A-M ミキサーで調節します。904A の出力は 902 VCA にフィードし、そのアンプリチュードを 1 台目の 911 EG で制御します。

パーカッシブなエッジを得るには、この 911 を T1（アタック）2 ms、T2（ディケイ）200 ms、T3（リリース）200 ms、E sus（サステイン）4 秒に設定します。

904A は 921 LFO の緩慢なサイン波と 2 台目の 911 EG により変調しますが、その設定は大体 T1（アタック）1 秒、T2 *(ディケイ）50 ms、T3（リリース）4 秒、E sus（サステイン）9 にします。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You

behringer